



大学の貢献

「SDGsをテーマとした総合的な探究の時間」山口県立防府高等学校で出前講義

2022年9月26日、山口大学の16名の教職員と大学院生が、山口県立防府高等学校で出前講義を行いました。

同校の2年生を対象とした「総合的な探究の時間」に、SDGs（持続的開発目標）の17のゴールのいずれかをテーマとし、グループに分かれて探究活動を行う過程で、本学教員の研究テーマに関連した講義と、所属する学部・研究科・コースの紹介などを行った後に、各グループの選んだSDGsのテーマについて、具体的な探究方法にアドバイスをするを目的としていました。

多くの生徒がSDGの1（貧困をなくそう）、2（飢餓をゼロに）、3（すべての人に健康と福祉を）、5（ジェンダー平等を実現しよう）、10（人と国の不平等をなくそう）、14（海の豊かさを守ろう）などに関心を持ちました。

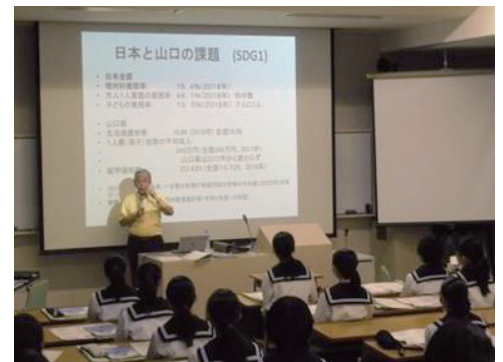
「貧困・飢餓と格差」（SDG1,2,10）をテーマに選んだグループでは、地域のフード・ロスをなくすための地産地消の取り組み、防府市にある子ども食堂の活動、障がい者の雇用と賃金格差、先進国と発展途上国の教育水準の格差の現状と課題を探り、高校生として何が出来るかを考えていきたいとの発表がありました。

「健康と福祉およびジェンダー平等」（SDG3,5）を選んだグループでは、山口県の少子化の現状と周産期医療、子育てにおける性役割の変遷とこれからのあり方についての講義があり、さらに、健康と福祉ではダイエットの影響や食生活、がんの早期発見に向けた検診のあり方等、ジェンダー平等の実現では男性の育児休暇取得促進について、お互いの性を尊重した関わり、世代間での性別意識の違いがもたらす影響等、各班の課題解決にむけたあり方について講師からの指導を受けました。

「産業と技術革新」（SDG9）を選んだグループでは、農業という産業を維持していくために必要な考え方を中心に講義が行われ、さらに探究活動を行うために必要なブレインストーミングや因果ループ図などの分析手法についての指導がありました。

また、外国に滞在中の教員はリモートでの講義（SDG11、住み続けられるまちづくり）を行い、学生たちが選んだ地震と防災のテーマについて、防災マップの紹介や自治体の災害情報の収集手段について指導しました。学生は津波の発生を想定した避難方法の検証、避難時の幼児やペットへの対応などについて熱心に質問していました。

その他のテーマを選んだグループにおいても、本学教員は、学生たちがSDGsを身近な問題として捉えられるように熱心に講義を行い、探究方法について指導・助言を行いました。



SDGs Talk Show シリーズ～JICAと山口大学のコラボで実施

SDGsについて学べる、考えるイベントを山口県JICAデスクと山口大学が共催で開催しました。

・山口大学×JICA SDGs Talk Show～山口でSDGsみつけ！～

2021年5月26日

【内容】★今話題のSDGsって？！ ★山口県におけるSDGsとは？ ★地域のSDGsの取組を学ぶチャンス！

【講師】山口大学経済学部・特命教授 富本 幾文氏

・山口大学×JICA 国際協力Talk Show 「野球でアフリカをかえる挑戦25年！～スポーツ×開発×SDGs～」

2021年6月22日

【内容】SDGs的発想でスポーツと開発に貢献する財団法人を立ち上げるまでの現場感溢れる話を紹介

【講師】友成 晋也 氏（一般財団法人アフリカ野球・ソフト振興機構代表理事）

元JICA職員で南スーダン事務局長も務めた。ガーナ、タンザニア、南スーダン事務所勤務時に野球の普及事業を展開。

・山口大学×JICA 国際協力Talk Show 「語ってティーチャー！～他分野からみた国際協力～」

2021年12月7日

【内容】学生や市民として何かできることはあるのか、みなさんが疑問に思うことは何か。ざっくばらんに、一緒に考える。

【講師】荒木英樹 氏（農学部教授）、杉井学 氏（国際総合科学部教授）、天津邦明 氏（経済学部教授）

富本幾文 氏（経済学部特命教授）

・山口大学×JICA 国際協力Talk Show 「JICA海外協力隊の経験とその後のキャリア」

2022年2月22日

【内容】途上国でボランティア活動を行った元協力隊員の2人から、現地のリアルな生活や課題と取組、その後のキャリアについてざっくばらんにお話を聞きます。

【講師】青山 翔 氏（元バヌアツ隊員、小学校教員、現山口大学教育学部講師）

山田 将希 氏（元エクアドル隊員、理学療法士）